

# CONTENTS COMBAT

2012.Jan.  
No.430

# 1

Cover Design  
Raidensha(Hidetaka Koyanagi),  
Cover Photo  
Kunihisa Kobayashi / Taku  
©WORLD PHOTO PRESS 2012



006 【第1特集／Military Event特集】

## NEW GENERATION STYLER

●by Fujiwara

022 日本最大級の現代戦リエナクトメント開催!!

## HEART ROCK 2nd 2011

●Photos&Text by Taku

016 【第2特集／海外軍事事情特集】

## 世界最大の軍警察機関装備見本市 Milipol Paris

●レポート:清谷信一(Shinichi Kiyotani)

052 【第3特集／トイガン・レポート】

## TOKYO MARUI XDM-40

●Photos&Text by Tomo Hasegawa

058 初心者のためのマッチガン&アイテム選び

## その2【始動編】

●Photos&Text by Taku

042 【第4特集／タクティカル・ギア特集】

## MAGFORCE INTERNATIONAL 2012 New Models preview

マグフォース2012年新作(予告編)

●Photos&Text by Tomo Hasegawa

076 **WOOLRICH ELITE SERIES TACTICAL  
“ELITE CONCEALED CARRY CHINO” &  
2012 NEW ITEMS**

●Photos&Text by Tomo Hasegawa



004 1972年のTVドラマ版から最新の映画版まで

## 映画『ワイルド7』と銃

●Photos&Text by SAKURA KEISUKE

044 GOODS & ACCESSORY

048 新しいお店が続々オープン!

## Military Shop OPEN Information

●Photos&Text by Taku

050 限定発売決定!!

## ARMY MACKINAW COAT

056 TOKYO MARUI

## SAMURAI EDGE M92F KENDO

S.T.A.R.S. CUSTOM [BARRY BURTON MODEL]

●Photos&Text by Taku

064 WESTERN ARMS

## COLT GOVERNMENT SCREEN PROPERTY SERIES

●Photos&Text by SHOTGUN MARCY

068 WESTERN ARMS

## BERETTA M92FS CHARACTER SERIES

●Photos&Text by SHOTGUN MARCY

072 Graphic COMBAT

同軸二重反転方式ヘリコプター” X-2”

注目されるヘリコプターの新しい技術

●イラスト・解説:坂本 明

082 トイガンニュース

082 セクター BOLT AIRSOFT B4A1 6-MM CARBINE

084 WA S.F.A. V10 ULTRA COMPACT ALL BLACK MODEL

085 Militaria Roundup!

アメリカ軍のコットン&ウール製オーバーコート

●解説:菊月俊之

096 サープラスいじり技術研究所

●写真・文:織本知之

130 The Equipments of the U.S. Force

[現用米軍装備カタログ] 第85回

香港トイソルジャーの最新レプリカ装備カタログ

●解説:松原隆(高知ボンパース) / 滝上英明(Gamis) ●撮影:山崎 学(高知ボンパース)

138 月刊 自衛隊「ニッポンのちからこぶ」

震災後初の日米共同訓練

●取材:菊池雅之

142 PRESENT

184 S&Graf WWIIドイツ軍グッズ

186 中田商店グッズ

097 韓国・ソウル軍事見本市ADEX ●レポート:菊池雅之

101 物欲ワンホール

Round 05: どこでも“寝る”事で生命カアップ! SLEEPING BAG(寝袋)

104 レア・ミリタリー・テクノロジー

108 ミリタリー雑学講座

112 ミリタリー・コレクション

114 幻妖中隊 MIX MILITARY IMAGINATIONS [GENYOH-COMPANY] ●by FUJIWARA

116 APS公式記録会 in 錦糸町@2011.10.15

118 A STITCH IN TIME

119 MGストーリー ~小峯陸生のできるまで~

122 蛙のゆびさき(中山 蛙)

124 トイガンズジャンクション

161 バックナンバーリスト

162 君は何と闘うのか ~世間の常識との闘い方~ ●文:甲野善紀

164 帰ってきた 狩野健一郎の [監督、そこにおっぱいは必要ですか!]

166 アメリカGUN事情 Guns Talk from US

168 ビバ! ナイフ

170 狩野健一郎の新作DVD紹介

172 コンバットマガジン・インフォメーション・センター

175 読者プレゼント応募方法

176 編集後記





# 世界最大の軍警察機関装備見本市

# Milipol Paris

●リポート: 清谷信一 (Shinichi Kiyotani)



フランス国家憲兵隊による、CBRN環境下における調査のデモ。使用されている防護服はボール・ボワイエ社のレベルB用のCLD500だ。

ミリポール・パリは軍・警察などの法執行機関向けのセキュリティ関連装備を主とした世界最大の見本市で、フランスのパリにおいて隔年で開催されている。またパリで開催されない年は、中東のカタールで開催されている。こちらは中東向けに特化した見本市だ。

ミリポール・パリは今回で第17回目を迎え、例年通りパリ市内のポート・ド・ヘルサイユの見本市会場で10月18日から21日の4日間にわたって行われた。

今回の出展数は888社(公的機関含む)で、その内34%が地元フランス企業、残り66%が外国企業であった。近年は製品の質が向上した中国の被服、個人装備メーカーも出展数を増やしている。また来場者は27,243名を数え、前回に比べて14%増加。また53カ国から110のデリゲーションが訪れ、我が国からは警察関係のデリゲーションも訪れていた。

今回特に話題となったが仏DGA(国防省装備庁)が開発中の歩兵用の二足歩行用重量物キャリングシステム“ヘラクレス”だ。これはロッキード・マーチンロッキード・マーチン社が開発中のHULC(Human Universal Load Carrier)と同じコンセプトのもので、近年アフガンなどで問題となっている、歩兵の重量荷重を軽減する目的で開発されている。

イスラエルのプラサン・ササ社の装甲車スバキャットの最新型。法執行機関向けの仕様となっている。従来型はフォードFシリーズの車体を流用した小型のものだったが、今回展示されたのはフォード550をベースにしており、戦闘重量が8tで、フォード社の6,700cc/400馬力のディーゼルエンジン/V8 OHVを搭載しており、パワー・ウェイト・レシオは37.5/tと極めて良好。乗員は操縦手、車長が並列で、その後ろに下車歩兵が3名用の並列席があり、さらにその後ろには左右3名ずつが向き合って座る。つまり下車歩兵は9名が搭乗できる。キャビンの容積は7.73m³である。防衛レベルは全周的にNATO規格(STANAG4569) レベルII+で、車体下部はレベルIだが、共により強化が可能。また今回車体後部にはエルドア・コミュニケーション・テクノロジー社の赤外線監視システム“エリオスVMR-150”を搭載している。



中国の軍服メーカー。今回中国のパビリオンでは多数の被服、個人装備メーカーが軒を連ねていた。



個人装備類も充実していた。クオリティはかなり高くなっている。

シュアファイアーのガンマウント用ライト“ヘルファイアー”を装備したミニガン。近年ミニガンや12.7mm機銃にはライトを装備するケースが増えている。

オランダの防弾素材大手、テンカート社軍服用生地“ディフェンダーM”。ディフェンダーMはビスコース(レーヨン系の化繊)65%、トワロン25%、ナイロン10%となっている。トワロンは帝人のアラミド系繊維で、防弾ベストなどにも使用されている。ディフェンダーMは優れた耐火性と耐久性、着心地を実現し、米軍の戦闘服にも採用されている。

中国のAPSエアガン社の治安維持用の2連装機銃式エアガン。圧搾空気でペイントボールやゴム弾、ベーパー弾などを発射する。スコープやライトが装備されている。

# 日本最大級の現代戦

# HEART ROCK

Photos&Text by Taku

# リエナクトメント開催!!

# CK 2011



去る10月22日～23日の2日間にわたり、古くは“MVラリー”やNAM戦イベント“アホカリブス”でお馴染み、山梨県にある本栖ハイランドにて「HEART ROCK 2nd 2011」が開催された。日本最大の現代戦リエナクトメントイベントとして、全国より多くの参加者が集まることで知られている。

読者の中には“リエナクトメント”という言葉聞いてピンと来ない人もいるのではないだろうか。直訳すると「再現する」「再演する」という意味となる。簡単にいえば、実際にあった出来事を、そのシナリオに基づいて忠実に再現し楽しむというイベントだ。

ヒストリカルイベントという言葉の方が日本のマニアには馴染み深いかもかもしれないが、最近リエナクトメントの呼び方も定着しつつある。と言うか、リアクナメントの方が元々の呼び方であった。

一般的なサバイバルゲームとの大きな違いはシナリオがあるということ。通常のサバイバルゲームが1ゲーム20分程度で行なわれ単純に勝敗を決するのに対し、リエナクトメントでは、基本的に作戦が終了（“状況終了”と呼ぶ）まで続行され、ゲーム開始から終了時刻まで1日中戦闘状態が続く。当然、食事や休憩もフィールドの中で行なう。フィールドから退場するためには、緊急でない限り、部隊長からの許可を得なければならないと、一般のサバイバルゲームとはかなり異なる。

安全基準やヒット判定などはサバイバルゲームのルールに則っているが、ヒットされたプレイヤーはその場から立ち去るのではなく、「戦死者」としてその場に留まり、プレイヤーを演じ続けなければならない。もちろん、戦死の死にざまも演技するのが望ましい……

というより、ベテランになると、どのような死にざまを演じるか、ウデの見せ所でもある（笑）。しかし、一端戦死判定が下ったらそれで終わり。後はずっと死体のまま……ということはない。死体役は一時的なもので、専用のカウンターを持ったプレイヤー（だいたいが部隊長）に生き返らせてもらえる。

ゲームとしての勝敗はどうやって決めるのかというと、この戦死者を数えるカウンターがカギを握る。敵味方双方には、部隊ごとにこのカウンターが配られており、このカウンターの総数（戦死者）の数の多い方が負けとなる。基本的なシナリオと移動するコースは決められてはいるが、最終的な勝敗はカウンターの数となるため、パッと見ただけでは勝敗は判らないのだ。

リエナクトメントと通常のサバイバルゲームでは、もうひとつ、最大かつ重要な違い

# 初心者のためのマッチガン&アイテム選び

—これからシューティングを始めた方、必見! ビギナー向けのガン選び。— Photos&Text by Taku

## その2【始動編】

- 東京マライ <http://www.tokyo-marui.co.jp/>
- ノーベルアームズ <http://www.nobelarms.co.jp/>
- ホビージャパン <http://frontier1.jp/>



### マッチガン

今回マッチガンとして採用した「Hi-CAPA MATCH」だが、2挺とも彼女たちの手に合わせてグリップを加工を行った。

女の子の場合、男性に比べて手が小さい。ガンというのは、そのほとんどが男性向けに作られているため、手の小さな女の子には上手に握り込むことがやや難しい。そのため、少しでも握り込みやすくするため、グリップに手を加えたのである。

カスタムグリップとオリジナルを比較してみると、その違いはハッキリ判る。男性の手ならば難なく握り込めるが、手が小さいと回り込む量も少なくなる。それを補うため、全体を大きく削り込む。さらにグリップ下部にサポートのためのアドバンテージを追加。こうすることで、自然とグリップの高い位置を握り込むようになる。

グリップの上の方を握ることを「ハイグリップ」という。グリップの上側を握り込むことで、ガン自体の重心が低くなり、反動を抑え、狙いやすくなる。またトリガーやセフティなども操作しやすい。

初心者の場合、グリップの下側を握ってしまう傾向がある。女の子は手の小ささもあり、なおさらその傾向が強い。それを補正するためのアドバンテージを取り付けた。今回は、彼女たち専用なので、ハテで直接盛り付けたが、取り外し式しておくという手もある。



Hazukiカスタム、macoカスタムともに、グリップのデザインは変わらない。大きく上までせり上がったアドバンテージが目立つ。かなり削り込んであるので、男性が握ると細く感じられる。

トリガーガードの付け根部分をギリギリまで挟み込むことで、よりハイグリップしやすくなっている。大まかに棒ヤスリで削り、耐水ペーパーで仕上げている。



ノーマルモデルと比較するとかなり形状が変わっているのが判る。表面の滑り止め加工も効果目バツグンだ。

前回のビギナーのためのガン選び(本誌2011年11月号)で登場したhazukiちゃんが、学校の先輩であるmacoちゃんとペアを組み、女の子だけのシューティングチーム「Hapi Hapi隊(はぴはぴ隊)」を結成。いよいよスピードシューティング・デビューすることとなった。

テッポーを手にするのはもちろん、実際に的を撃ったことすらほとんどない彼女たちが、何と今年2011年12月4日に



hazuki CUSTOM



hazukiちゃんのガンには、小型のダットサイトを直接スライドに取り付けた。できればはじめのうちはアイアンサイトを練習した方が狙うことを覚えられるのだが、残念ながら彼女は乱視が強く、視力矯正してもサイトがダブって狙えなかった。そのためアイアンサイトを断念し、ダットサイトの搭載となったのである。ただマウントベースを装着してしまうと重くなるし、使用できるホルスターも限られてしまう。そこでスライドのリアサイトを取り外し、小型のサイトを直接搭載する方式を採用。これならば、ほとんどのホルスターが使えるので、価格的にもリーズナブルである。ちなみに搭載したダットサイトは、以前ガンショーで購入したもの。ダットのベースはABS板を貼り合わせて作ったハンドメイドボックス(Takui作)。こんな作りで大丈夫なのかと心配されるかもしれないが、エアソフトガンのリコイルくらいならば壊れることはないのご安心を。

maco CUSTO



ブルーのグリップフレームが、もうひとり「はぴはぴ隊」macoちゃんのカスタム。

基本的な仕様はhazukiちゃんカスタムと全く同じ。グリップにアドバンテージを盛り付け、全体を細く削り込んだだけのシンプルなカスタムである。グリップ表面のステッピング(滑り止め)加工は、削り込んだ表面に瞬間接着剤を平たく塗り、そこにグリップを削り込んだ際に出た粉を振り掛けただけ。これだけで滑り止め効果はバッチリだ。

実は、付属している滑り止めシールを使いたかったのだが、細く削り込んでいるのと、アドバンテージを装着したことで型紙が合わなくなってしまった。それでお手軽ステッピング加工を行うことにしたワケである。詳しい作業方法については、また改めて紹介するので、それまで待って欲しい。

こちらのガンは、アイアンサイトのままで変更なし。macoちゃんの場合は乱視ではないので、アイアンサイトからスタート。はじめの内は苦労するかもしれないが、慣れればアイアンとダットのどちらでも撃てるようになる。

# WOOLRICH ELITE SERIES TACTICAL “ELITE CONCEALED CARRY CHINO” & 2012 NEW ITEMS

Photos&Text by Tomo Hasegawa

問い合わせ先 / 中田商店 ☎03-3839-6866

http://www.nakatashoten.com/



**Discreet ~ “ディスクリート”。**  
カジュアルウェアの外観に、目立つことなく  
武器や装備を携帯する。  
人に紛れ、都市に溶け込むことを  
目的にデザインされた  
タクティカルウェアの最新作!

## ウールリッチ・エリートシリーズ 最新“ディスクリートチノ”

このパンツを見て欲しい。

一見、変哲もないチノパンだが、タクティカルウェアとして独自の工夫が隠されているのだ。

タクティカルウェア……それもパンツでは当初、太腿部分にポケットを備えたカーゴタイプのパンツが一躍人気を得た。しかし、今アメリカの警官の間ではサイドポケットのないタイプが求められている。

「犯罪者に警戒されないための“ディスクリート [discreet]”なタクティカルパンツ……」

これはアメリカでポリスの取材をした時、異なる警察署の隊員の方々から同様の意見を聞いた。“ディスクリート”は「控え目な」という意味を持つ単語。犯罪者達に警察であることを悟られないよう、より普通に見えるデザインのタクティカルパンツが求められているというのだ。そんな要望に合わせ製作されたのがこの“ディスクリートチノ”。ウールリッチ社のタクティカルブランド“エリート”シリーズのニューアイテムなのだ。

これまでのタクティカルパンツにくらべると、グッとスリムながら、伸縮性のある

細身でスッキリしたデザイン。お尻のラインなどシルエットもカッコよく着こなせます。それでいて伸縮生地だから動きやすい。イオタック社のディスクリートパンツも素晴らしいが、その上をいくディスクリートパンツの新定番登場!



フロントポケットはライトやペン、ナイフなどをクリップで携帯しやすい“L”型シェイプ。リアポケットはフラップの一部の縫い目がなく、無線機のコードを出したり、ライトやナイフを装備しやすくなっている。

最大の特徴はフロントポケットの内側に設けられた隠しポケット。小型ファスナーの使用でパッと見縫い目には見えません。



隠しポケットは十分な容量がある。グロック17など、フルサイズのハンドガンが収納可能。携帯電話と他の携帯品を分割収納する目的にも重宝する。

## WOOLRICHエリートシリーズ / ディスクリート“チノ”

見慣れたチノパンのスタイルだが、伸縮素材を使用しあらゆる射撃姿勢にも対応。さらに隠しポケットを装備するなど、人に紛れ、都市に溶け込む事を目的にデザインされたタクティカルウェアの最新作! 価格¥7,800。カーキ、ブラックの2色。



フランスのアクマット社が開発した治安用ピックアップ“ALTV4×4”。戦闘重量が3.7tで、ペイロードが1.3t。乗員はキャビンに4名、荷台に6名搭乗できる。エンジンは190馬力のディーゼルエンジンを搭載しており、最大速度は160km/h、登坂力は80%。サイレンや回転灯など多数の警察用のオプションが装備されている。写真にはテレスコープマストにタレス社の光学・電子監視システムが搭載されている。



アクマット社の治安用装甲車“バストンAPC”。仏軍でトラック兼兵員輸送車として使用されているVLRAをベースに開発された装甲車だ。最大戦闘重量が15tで、ペイロードが最大2t、装甲はレベルI～IIIからユーザーが選択できる。乗員は2名+下車歩兵となっている。215馬力のディーゼルエンジンを搭載し、最大速度が120km/h、後続距離は1,000kmとなっている。



イスラエルのカメロ社の監視視レーダー“エクサバー100”。M16の30連マガジン2本と同じサイズで、重量は550g。個々の兵士が携帯できるサイズだ。従来型のこの種のレーダーは移動物しか探知できなかったが静止している人物も特定できる。探知距離は8m、探知角度は上下とも120度となっている。使用周波数は3～10GHz。



こちらは探査範囲が20mと広範囲探査型の“エクサバー400”。重量は3kg。使用周波数は2～10GHz。



ルノー・トラック・ディフェンス社が発表した新型の治安車輛“MIDS”。SWATチームなどの展開や暴動鎮圧などを想定した装甲バンで、戦闘重量が17.5t。300馬力ないし200馬力のディーゼルエンジンを搭載する。乗員は2名+10名の下車要員で、キャビンは各種装備も収納できる。エアコン、飲料水タンクが標準装備されている。またドーザーを装備することも可能だ。



後部は全面がランプドアになっており、迅速な下車、展開が可能となっている。



フランスの高級傘メーカー、パラ・パクトゥム社の製品。ただの傘ではなく、仏大統領の警護用傘で、投石や刃物などを防ぐための特殊な傘だ。



“エクサバー800”は、このタイプの製品では世界初の3D方式。平面的な2D方式に比べてより詳細に壁を通した室内の様子がわかる。2Dの探知モードも有している。探知範囲は最大20mで、使用周波数は3～10GHz。

リビジョン社の新世代ヘルメットシステム“バトルスキンシステム”。フルフェイス型の軽量ヘルメットと通常のヘルメットよりも20%軽量。開閉式のバイザー、顔面下部を保護するフードは取り外し式である。また額上部のマウントは多彩な暗視装置などの装備を装着できる。



フランスのSEMAワールド社の対RPG防衛システム“NAウォール”。折りたたみ式で、RPGだけでなく、車輛爆弾などにも有用である。



ポール・ポアイエ社（仏）が開発したボディアーマーやNBCスーツ用のクーリングベスト。水の気化熱を利用する方式で3時間効果が持続する。北京オリンピックの警備でも使用された。



イスラエルの小火器メーカー、IWH社の新製品“UZIプロ”。マイクロUZIの後継モデルで、ポリマー製のフレームを採用している。同じく折りたたみ式ストックもポリマー製で、チークパッドはアジャスト式。トリガーガードはなく、代わりにステアアUGのようなグリップ/フレーム一体型のガードが設けられている。フレームはバレルを包み込み形で延長されており、サイレンサーが装着できる前掲の設計となっている。ピカニティニ規格のレールマウントが左右に設けられ、下部には折りたたみ式のパーチャルグリップが装備されている。サイトにはマプロ社の“マプロ21リフレクトサイト”を採用。使用弾薬は9mmパラベラムで、重量は2.32kg、全長は529mm（ストックを畳んだ状態では300mm）、バレル長152mm、初速380m/s、発射速度は毎分1050発となっている。



H&K社の新型狙撃銃“G28”。民間用の競技用ライフルであるMR308をベースに開発されたセミオート狙撃銃。レールマウントを装備したフォアグリップ兼スリーブがフラッシュハイダーまで伸びているのが特徴的。重量は7.9kgで7.62mm NATO弾を使用し、バレル長は420mm、初速は780m/s、マガジンは透明で装弾数は10発。2段階のガスレギュレーターを採用し、フィールド・ストリップングには特殊な工具を必要としない。パーツの75%がHK417と共用である。最大射程は800mで、サイトは3-20×50倍のスコープを搭載している。



G28には、より軽量のバトロール仕様が用意されている。こちらはフォアグリップが短く、重量が1.6kgと軽量。最大600mの射程を想定し、1-8×24倍のスコープを採用している。



米国アーマー・インターナショナル社の装甲車“ハンターTR-12”。法執行機関用の装甲車でV字型の耐地雷を有している。装甲レベルはNIJ規格のレベルB5~B7。

フランス、ヴェルネイ・キャロン社のノンリール・ウエポンであるフラッシュボールの最新型ランチャー“フラッシュボール・スーパープロ”。直径44mmのコム弾を撃ち出す。その威力はプロボクサーのパンチ並だという。スーパープロは折りたたみ式のパーチャルグリップが付加された。また2連装バレルの上部にはレールマウントが装備され、光学サイトなど多彩なアクセサリが装備できる。



フランス、ナチュラント社の特殊部隊用のひとり乗り用のカヤック“HP コマンドウMk I”。ふたり乗り用の“SBコマンドウMk VI”も存在する。同社の製品は仏軍の特殊部隊で使用されている。



中国のジーファ3502キャリアー・アピール社が発表した曲射銃システム。イスラエルのコーナーショットそっくりだが、バリスコープが装備されているのが特徴。ビデオカメラと液晶のモニターを使用するよりも安上がりだ。



フランス国防省、DGA（装備調達庁）が中心となって開発中の二足歩行用重量物キャリアリングシステム“ヘラクレス”のプロトタイプ。ロッキード・マーチン社のHULC（Human Universal Load Carrier）と同じコンセプトだ。ハーネスと脚部を支える補助脚が一体化されており、4km/hで最大5時間、20kmの距離を踏破できる。



ペイロードは最大100kgとなっている。通常の歩兵の約2.5倍の重量の貨物を背負うことができるわけだ。DGAではこれを半ロボットという意味で“コボット”と称している。



こちらは最新型のプロトタイプで、脚がより太くなっている。最終的には2015年に開発を終える予定だ。



テクノロボット社のUGV“ライオットボット”。暴徒鎮圧用UGVで、ペッパーボールガンを装備している。姉妹品には同じ車体を利用し、光学センサーを装備した“ビジョンボット”が存在し、2種類を連携して使用すれば有効に偵察と暴徒鎮圧が可能である。



スイス、アストラ・アームズ社のライフル/カービンSTGシリーズの最新型“グレニカ”の各種モデルが発表された。グレニカはバレルにグレネードランチャーを装着するためのくびれが設けられている。写真はグレニカ12.7コマンドウGLで5.56mm NATO弾を使用する。構造はM16系を踏襲しているが、フレームは高品質の7075-T6アルミの削り出しで、高い堅牢性を有している。アッパーレシーバーは平面で構成されており、スタイリッシュな印象を与える。重量は2.3kgで、バレル長は266.7mm、フォアグリップ、フレーム上部にはレールマウントを標準装備、メカニカルサイトは倒立式となっている。



火器は7.62mm NATO弾を使用するFNのSCAR。



帝人のトワロンのブース。トワロンはデュボンのケブラーについて世界第2位の売上を誇る防弾アラミド繊維だ。



フランス国家警察の特殊部隊RAIDのユニフォームの一例。警察の部隊というよりも、PMC的な感じだ。



2009年に創設された仏国家警察の対テロ特殊部隊“FIPN (Force d'Intervention de la Police Nationale)”のユニフォームと装備制服。